

第 12 章 令和 4 年度決算報告

1 概 要

地域の基幹病院として富士宮市民をはじめ山梨県を含む近隣市町住民の高度かつ多様化する医療需要に対応し、良質な医療を提供すべく、医療体制の充実、医療及び看護水準の向上、開業医との病診連携の推進、そして施設設備及び高度医療機器の整備に努めてまいりました。

令和 2 年 1 月に日本国内で患者が報告された新型コロナウイルス感染症への対応も 3 年目を迎え、感染対策の更なる徹底と新たな変異株への対応に追われながらの病院経営となりました。

診療体制については、感染拡大時においても通常の診療を継続させると同時に、県の重点医療機関としての役割を担い、感染症対策病床として最大 21 床の受入れ体制を整備し富士医療圏域の陽性患者のメディカルチェックや入院治療の必要な患者の受入れ等、地域の基幹病院としての役割を果たすことができました。これに加え、ワクチン接種や新型コロナウイルス感染症の後遺症患者の外来診療も実施いたしました。

また、コロナ禍で医療現場が逼迫した状況においても、医師確保対策の成果により医師数が前年度から増員したことで多くの患者を受け入れることができ、医業収益の増加へと繋がりました。

医業収益が増加した一方で、長引く新型コロナウイルス感染症の流行やロシアによるウクライナ侵攻の社会経済情勢の悪化を起因とした物価高騰等の影響で医業費用も増加しました。

この他、人材確保対策として、将来の看護師等の確保を目的とした修学資金貸与制度に基づき、本年度は新たに看護学生 9 人に対して修学資金を貸与しました。

また、医療機器整備事業として、「血管造影装置」をはじめとした機器の更新を行い、最新の医療機器による効果的な診療が行えるよう努めました。

入院部門は、年間延べ患者数 89,673 人（1 日平均 246 人）で対前年度比 395 人増加（0.4%増）し、病床稼働率は 64.6%で対前年度比 0.3 ポイント増加となりました。平均在院日数は 11.4 日で対前年度比 0.5 日増加し、患者一人一日当たりの診療収入額は、59,867 円で対前年度比 1,991 円増加となり、これにより入院収益は、対前年度比で 2 億 142 万 3 千円の増加（3.9%増）となりました。

外来部門は、年間延べ患者数 137,795 人（1 日平均 568 人）で対前年度比 5,352 人の増加（4.0%増）、患者一人一日当たりの診療収入額は 25,406 円で対前年度比 368 円減少となり、外来収益は、対前年度比で 8,719 万 7 千円の増加（2.6%増）となりました。

一方、医業費用については、制度改正による給与費の増加及び物価高騰により経費が増加したため、費用全体では、前年度より増加いたしました。

この結果、令和 4 年度決算は 4,435 万 1 千円の純利益となり、これに過年度からの繰越欠損金 46 億 5,312 万 9 千円を加えた当年度未処理欠損金は 46 億 877 万 8 千円となりました。

2 収支状況

※参考 68 頁 表「過去 5 年間の収益的収支の推移」等

(1) 事業収入

医業収益は、対前年度比 3.2%（2 億 8,283 万 4 千円）増加し、90 億 2,349 万 1 千円となりました。また、医業外収益は、対前年度比 4.4%（9,417 万 8 千円）増加し、22 億 5,473 万 8 千円となりました。病院事業収益全体では、対前年度比 3.5%（3 億 7,683 万 6 千円）増加し、112 億 8,047 万 2 千円となりました。

(2) 事業費用

医業費用は、対前年度比 3.5%（3 億 5,798 万 6 千円）増加し、107 億 544 万 8 千円となりました。また、医業外費用は、対前年度比 6.2%（2,858 万 4 千円）増加し、4 億 8,645 万 5 千円となりました。病院事業費用全体では、対前年度比 3.4%（3 億 7,252 万 3 千円）増加し、112 億 3,612 万円となりました。

3 資産等の取得状況

令和4年度中に取得した資産等（1件100万円以上）は、以下のとおりです。

(1) 改良工事 (単位 円)

名 称	金 額
南棟空調設備更新工事	39,468,000
1階照明器具LED化工事	29,700,000
揚水ポンプ更新工事	13,475,000

(2) 医療器械器具 (単位 円)

名 称	金 額
血管造影装置	179,080,000
外科用モバイルCアーム装置一式	24,200,000
回診用X線撮影装置	19,580,000
3次元眼底像撮影装置	17,050,000
デジタル脳波計	10,648,000
耳鼻咽喉科外来用ビデオシステム	8,052,000
電動リモートコントロールベッド(20台)	6,776,000
Nvigator2.0システム	6,345,900
多用途透析用監視装置（2台）	5,280,000
高圧蒸気滅菌装置	4,180,000
無影灯	4,158,000
セントラルモニタ	3,905,000
視覚誘発反応測定装置	3,520,000
ポンプテスト	2,966,700
泌尿器科検診台	2,794,000
除細動器（2台）	2,750,000
分娩監視装置	2,662,000
ベッドパンウォッシャー	2,638,900
SecuFix 子宮トランスイルミネーター	2,002,000
自動血球洗浄システム	1,892,000
ハンドピース	1,848,000
システム顕微鏡	1,782,000
浸透圧分析装置	1,430,000
簡易陰圧装置（2台）	1,372,800
輸液ポンプ（5台）	1,210,000

(3) 備品 (単位 円)

名 称	金 額
病棟用キャビネット	3,652,000
モバイルパソコン用大容量バッテリー (21台)	1,767,150
高速デジタル製版・孔版印刷機	1,499,960

(4) 用地 (単位 円)

名 称	金 額
富士宮市錦町 1 6 2 9 番 1 ・ 3 (合計 751.67 m ²)	45,851,869

(5) リース資産 (単位 円)

名 称	金 額
関節鏡システム(リース期間 5 年)	25,300,000